



● 今月のご紹介者

大同化工機工業 株式会社 代表取締役相談役 追田 正一 氏

『百朝集』 著 / 安岡 正篤 出版社 / 福村出版

混迷の時代に放つ 100 の名言
人の上に立つ心得集として、人生の指針として大いに活用できる箴言集。



[概要]

著者の安岡正篤氏は1898年、大阪市にて生まれる。大正 11 年に東京帝国大学卒業、東洋政治学者・人物学の権威として知られる。昭和 2 年に私塾・金鷄学院を設立し、東洋思想の研究と普及、後進の育成に努めた。終戦の詔勅の起草者の 1 人でもある。百朝集は終戦の日を挟んだ百日間、まさしく氏の断腸の日々であったその朝々を、家国と民族の永遠を信じ、かつ祈って、金鷄学院の院生に提唱し続けた魂の語録の結晶である。本書は、昭和 27 年に氏により大幅改訂されたもので、心の拠りどころとなる 100 の名言名歌を時代への警鐘をこめて解説している。戦後混迷の中で政財界のみならず、心ある多くの人達に光と力を与えてきた。安岡正篤氏の心の名所旧蹟ともいえる箴言書。

Q 1 : この本を手にとられたきっかけについて

“六中観”という言葉に出会ったのがきっかけです。高度経済成長期の頃だと記憶しています。求人難や若手社員の離職など人材確保の問題で、当社も厳しい経営環境下にありました。私自身、多忙な日々と葛藤している時に“六中観”という言葉に出会いました。この言葉は本書の著者である陽明学者の安岡正篤氏が人の道と指導者のあり方を説いたものでした。非常に感銘を受けました。

氏は、人間の基本は、活力、気迫、生命力であり、不変の真理を人間の品格を涵養する徳におき、人徳のない人間の行動は、必ず破滅すると説いています。現代風にいえば、最高のリーダーであるための心構え、条件、またどのような人間にならなければならないかが、この六中観に説かれていると私は考えています。

Q 2 : この本をお勧めしたい理由について

本書「百朝集」は、人生の指針として、何度でも読み返し活用できる一冊です。著者の安岡正篤氏は昭和の時代、政財界リーダーの啓発・教化・指導に注力されました。氏の書籍は、致知出版社、三笠書房などで、他にも多数出版されています。本は貴重な英知の宝庫です。特に本書は二世、三世の経営者の方にお薦めします。人格形成にも大いに役立つものと思います。

大同化工機工業 株式会社



本社：大阪府河内長野市上原町 250-2
資本金：3,000 万円
従業員数：280 名（全社）
事業内容：住宅外装部材、住宅内装部材、住宅設備機能商品等の製造販売